

TOTO

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド（便器部） BM/BHM

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

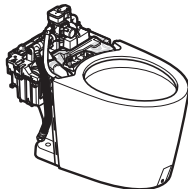
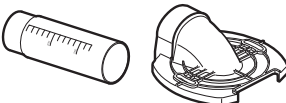
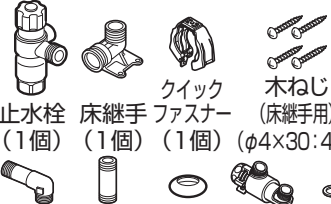
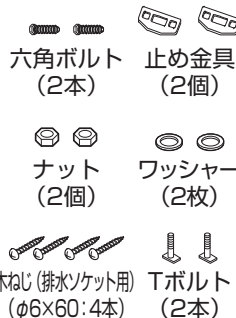
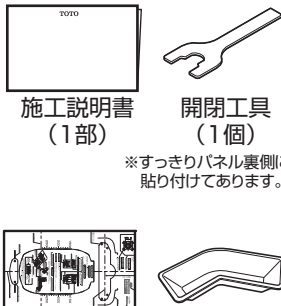
	❯ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

⚠ 注意

 禁 止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないとな水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体  (1個)	排水アジャスター  便器接続部 (パッキン付き) (1個)	Pシール  金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)
すっきりパネル  すっきりパネル(左) すっきりパネル(右) (1個) (1個)	 横引管 (1個) 床フランジ接続部 (1個)	固定片  木ねじ 接着ブロック 固定片 (φ6×40:2本) (1個) (1個)
給水金具  止水栓 (1個) 床継手 (1個) ファスナー (1個) 木ねじ (床継手用) (φ4×30:4本) エルボ ストレート管 フランジ 分岐金具 パッキン (1個) (1個) (1個) (1個) (1個) ※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けください。	固定金具類  六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2枚) 木ねじ (排水クẹt用) (φ6×60:4本) Tボルト (2本)	その他  施工説明書 (1部) 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。 位置決めシート (1枚) 水受けトレイ (寒冷地のみ:1個) ※お客様に渡してください。
給水ホース  給水ホース (1本) ※パッキン付き		

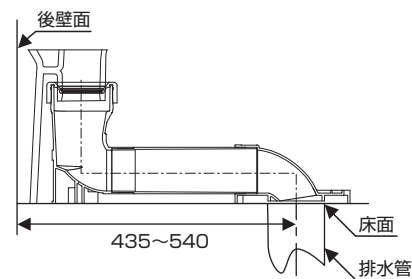
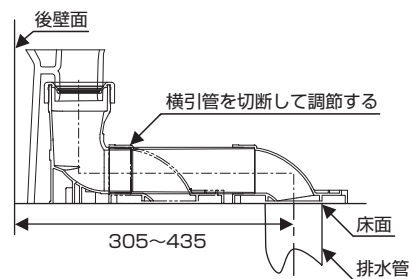
取り付け前のご注意

- ・取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- ・室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。
(壁が変色する原因となります)
- ・ネオレストAH・RHタイプは、後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。
(棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください)
- ・商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ・連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- ・電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は
AH1・RH0・RH1:1281W、AHW・RHW:1283W、AH2W・RH2W:1378W
(ヒーター付便器の場合はAH1・RH0・RH1:1321W、
AHW・RHW:1323W、AH2W・RH2W:1418W)です。
- ・電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- ・給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、
最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご利用ください。
- ・止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- ・施工前に給水管取り出し位置が次頁「給水位置の確認」に含まれていることを確認してください。
- ・施工前には、埋設されている給水配管などの破損を防止するため、位置を確認してください。

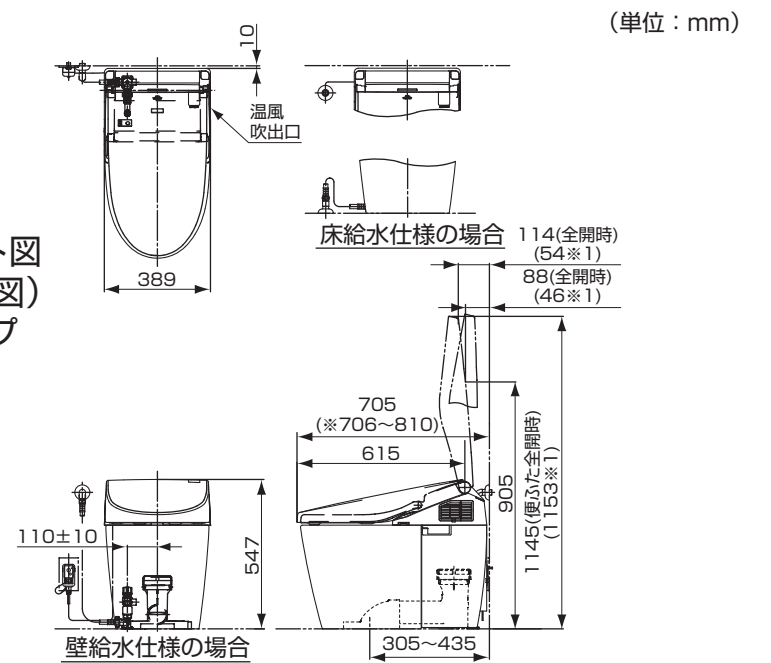
■排水心の確認

- 排水心 305～435mm の場合
横引管を排水心にあわせて切断し、
塩ビ接着剤で確実に接続してください。
 - 排水心 435～540mm の場合
横引管の切断が必要です。
目盛り275mmの位置で切断してください。

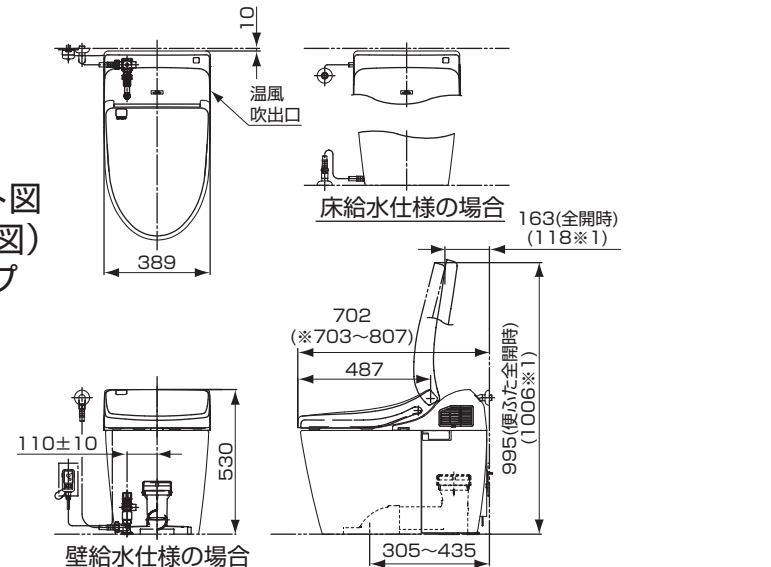
※排水心 435mm の場合でも横引管の切断が必要です。
※切断しないまま接続すると、便器と床フランジが干渉します。



商品セット図
(施工完了図)
AHタイプ



商品セット図
(施工完了図)
RHタイプ



注) C730から取り替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため便器と壁とのすき間は115mmとなります。
※寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
※1 お掃除リフト時の寸法となります。

給水位置の確認

⚠注意

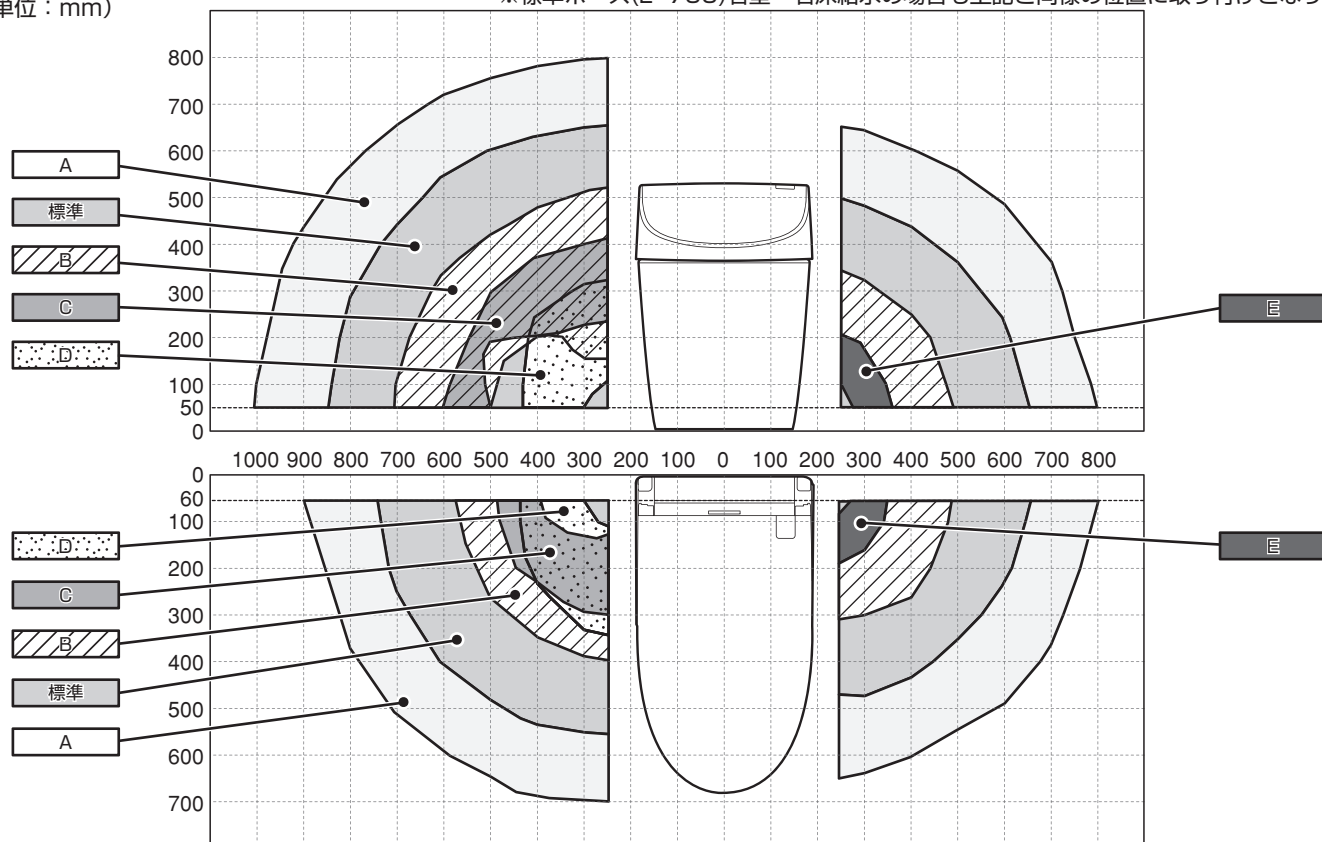


禁止

給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

必ず実行

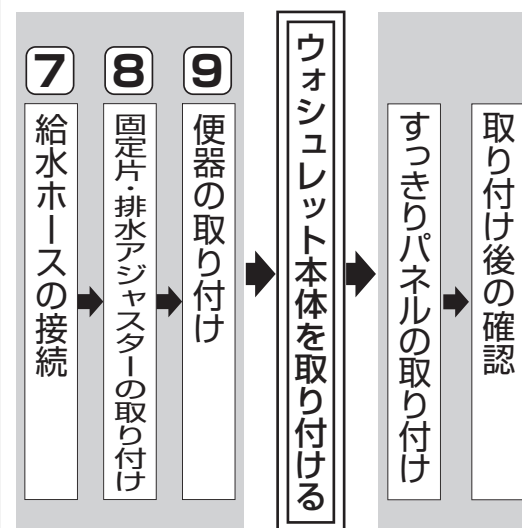
(単位：mm)



※寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。 ※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。 給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。
(は本紙、 はタンクの施工説明書を参照ください)

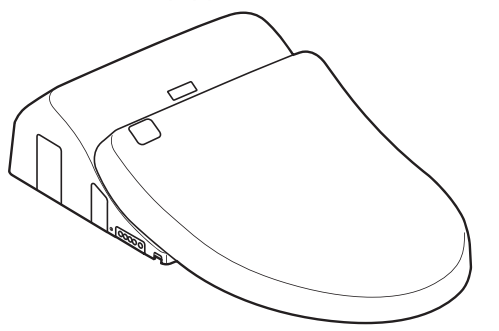


※上記は左給水の場合の施工手順です。
右給水の場合は6ページをご参照ください。

各部のなまえと施工のポイント

〈ウォシュレット本体〉

RHタイプ



ポイント⑧

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！

ポイント④

給水ホースの取り付けの際、ホースの折れ、およびすっきりパネルとの干渉に注意すること！
(➡⑦)

給水ホースの取り回し例 (床給水)

ポイント⑦

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！
(➡⑨)
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

ポイント①

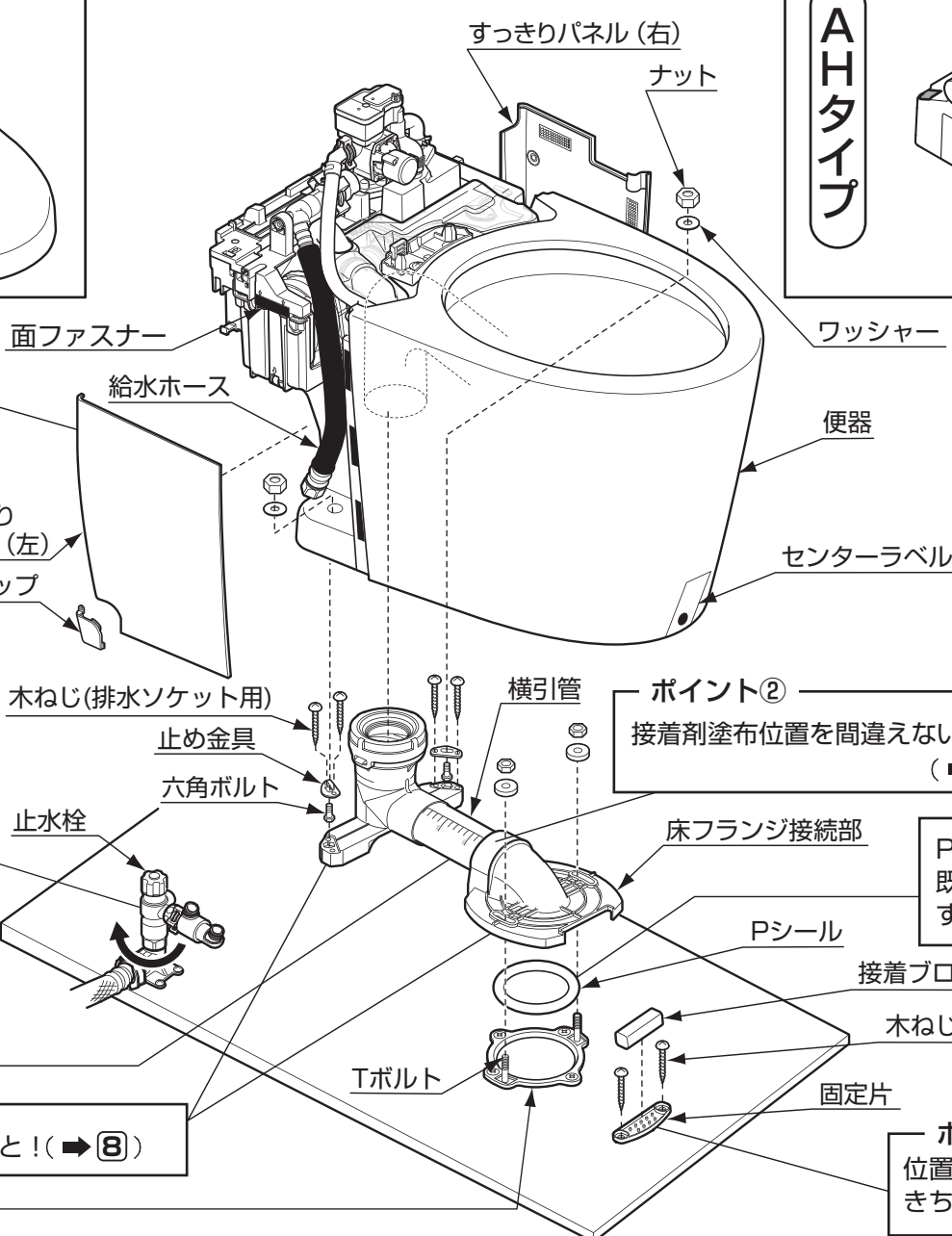
横引管切断は真っすぐ切断すること！(➡③)

ポイント⑤

床面に対してガタツキがないように接着すること！(➡⑧)

※既設フランジ

T53WR75,T53WR100,T53PR75,T53PR100,HP430系

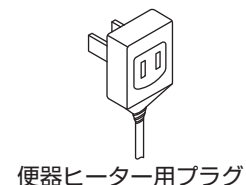
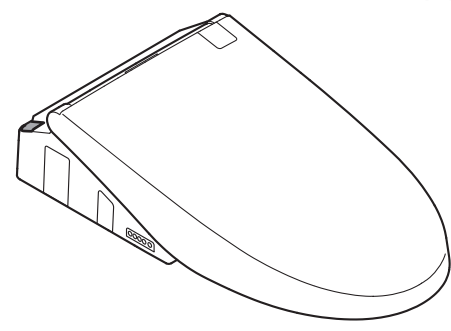


ポイント②

接着剤塗布位置を間違えないこと！
(➡④)

〈ウォシュレット本体〉

AHタイプ



便器ヒーター用プラグ



水受けトレイ

※お客様に渡してください。

〈ヒーター付便器の場合〉

ポイント⑥

Pシールの種類およびセットの方法は既設フランジの種類によって異なります。
(➡⑧)

ポイント③

位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと！
(➡⑤)

取付方法

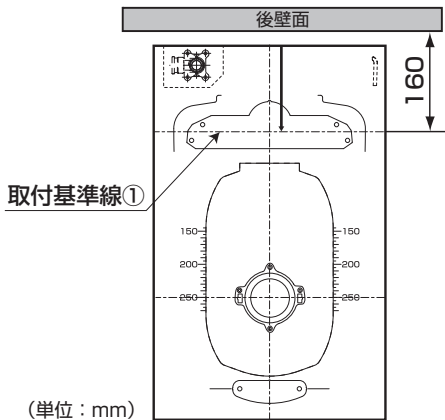
1 既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。
その後、既設フランジ中心線を床にけがく。

2 位置決めシートの使いかた

●排水心305～435mmの場合

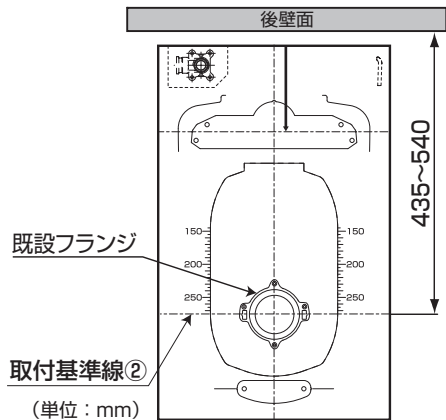
後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。
※寸法出しは後壁から行ってください。
(幅木からではありません)



※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。

●排水心435～540mmの場合

既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。



(単位：mm)

3 横引管の切断

●排水心305～435mmの場合

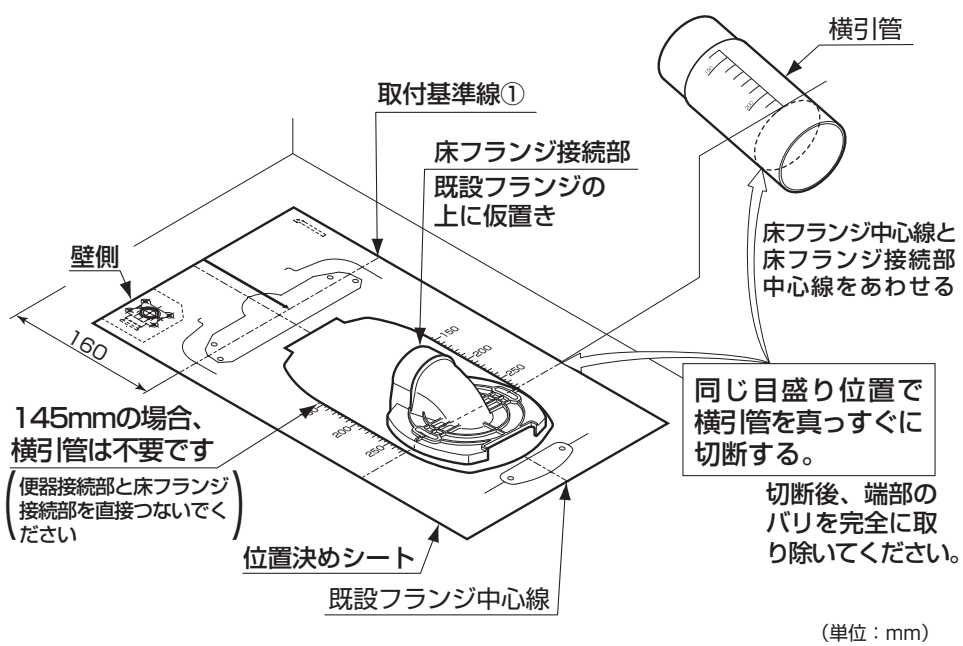
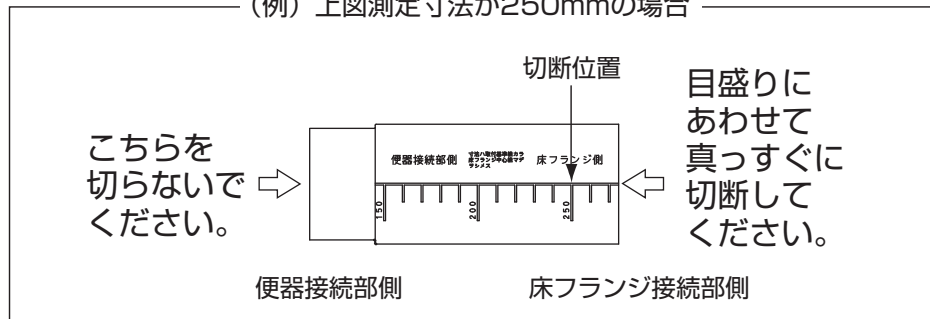
横引管を排水心にあわせて切断する。

●排水心435～540mmの場合

横引管を目盛り275mmの位置で切断する。

※排水心435mmの場合でも横引管の切断が必要です。
※切断しないまま接着すると、便器と床フランジが干渉します。

(例) 上図測定寸法が250mmの場合



(単位：mm)

4 排水アジャスターの組み立て

⚠注意



必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

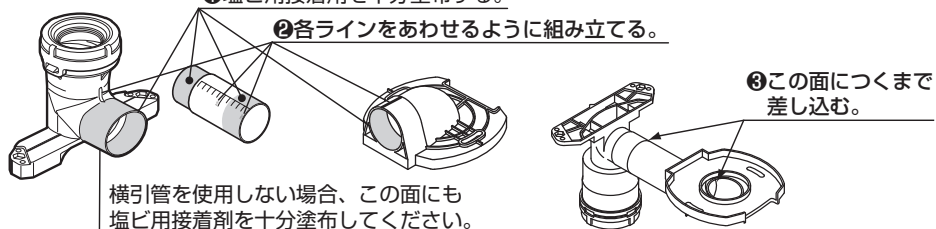
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

●排水心305～435mmの場合

①塩ビ用接着剤を十分塗布する。

②各ラインをあわせるように組み立てる。

③この面につくまで差し込む。



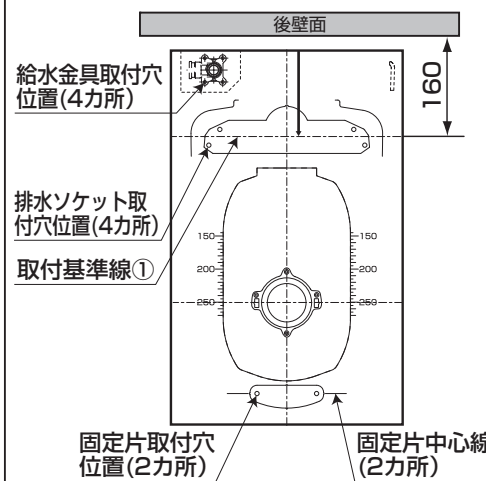
横引管を使用しない場合、この面にも塩ビ用接着剤を十分塗布してください。

※ここからは左給水の場合の施工手順です。
右給水の場合は6ページをご参照ください。

5 位置決めシートで固定穴位置をけがく

●排水心305～435mmの場合

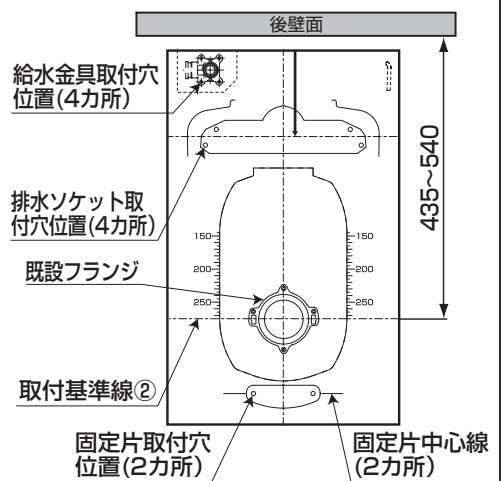
①後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。



(単位：mm)

●排水心435～540mmの場合

①既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。



(単位：mm)

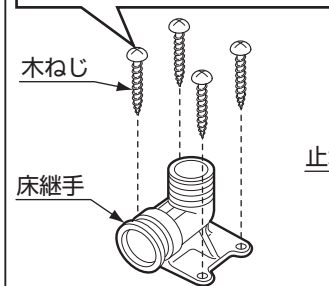
②位置決めシートを所定の位置に置き排水ソケット取付穴位置、固定片取付穴位置、給水金具取付穴位置、固定片中心線(12カ所)をけがく。

※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業しやすくなります。

6 給水金具の取り付け

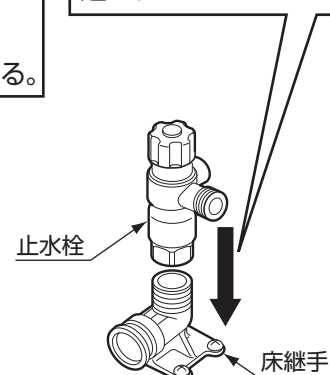
手順1

※固定する前にねじ部にはシールテープを巻いてください。
床継手を所定の位置に木ねじ(4本)で固定する。



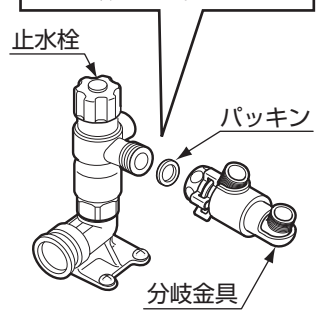
手順2

床継手に止水栓をねじ込む。



手順3

止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。
※結束バンドは切らないでください。



7 給水ホースの接続

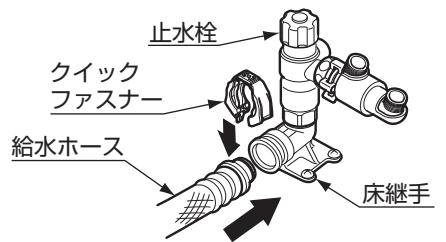
⚠注意



必ず実行

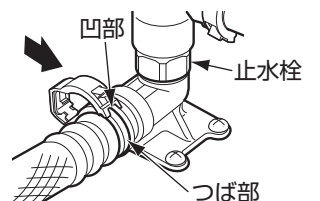
・床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
・クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
・カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

①床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。

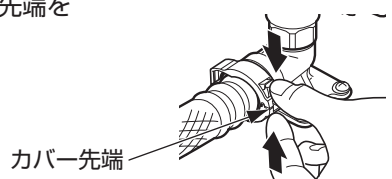


クイックファスナーの取り付けかた

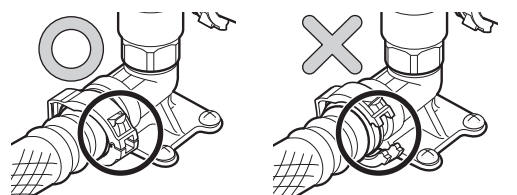
1) 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真っすぐ押し込む。



2) クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。



3) クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



裏面につづく➡

7 給水ホースの接続 (つづき)

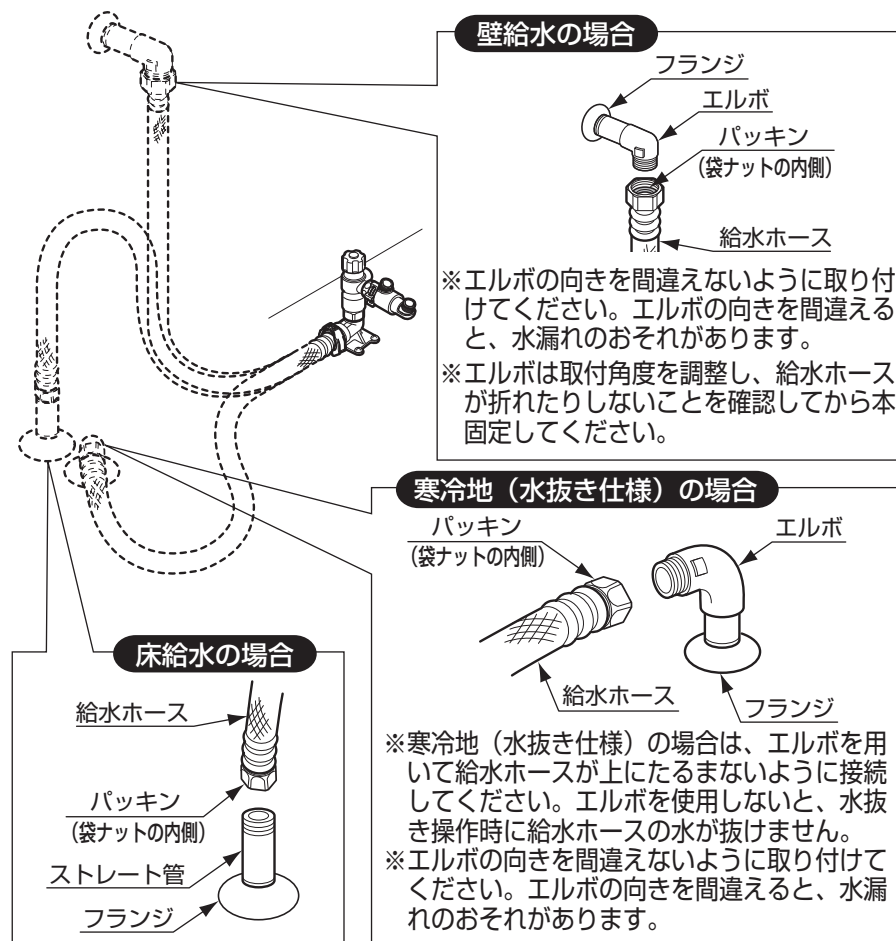
⚠注意



- 袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
- 給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



- 既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管（床給水の場合）またはエルボ（壁給水や寒冷地の場合）を取り付け、給水ホースを接続する。



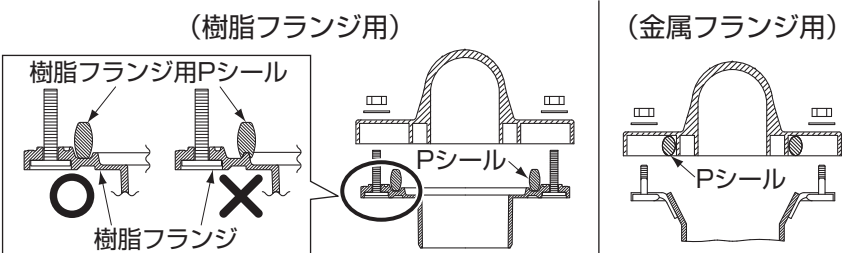
※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

8 固定片・排水アジャスターの取り付け

⚠注意

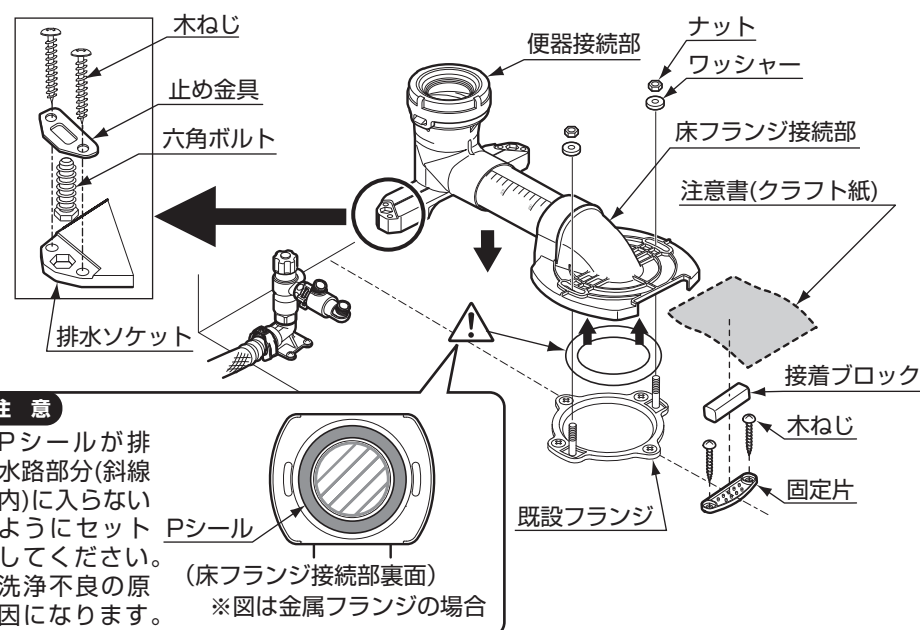
Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱（再取り付け時は同品番）の金属フランジ用Pシール（補修品番：TH633）または、樹脂フランジ用Pシール（補修品番：TH633-3）を使用する
 - 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する
- Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



- 排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
確実ににはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

- 〈樹脂フランジの場合〉Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。
- 排水アジャスターをフランジに押し付けてから、所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、便器接続部の取付穴(4カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。
- 床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- 固定片を固定片中心線にあわせて、木ねじで床に固定する。
- 固定片の凹部に接着ブロックをセットする。
- 固定片は、図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- 接着ブロックの上に付属の注意書（クラフト紙）をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



※気温が下がるとPシールと接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

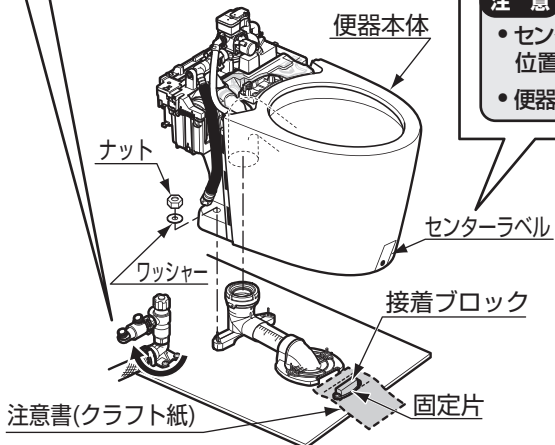
9 便器の取り付け

手順1

分岐金具を外向きに回転させておく。(便器に干渉しないように)

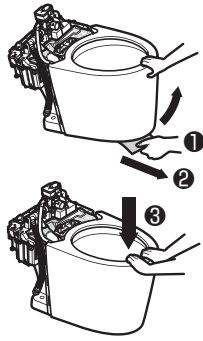
注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



手順3

- ① センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- ② 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- ③ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

- ・ センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- ・ 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

手順4

便器側の取付穴(2カ所)をワッシャー、ナットで固定する。

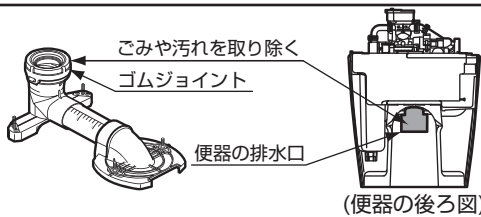
注意

- ・ 最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

手順2

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。
- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。

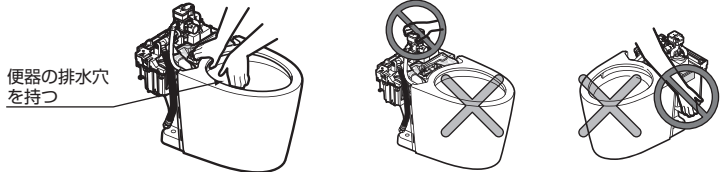


ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として **壁から10~15mm** を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。



便器の持ちかた



注意

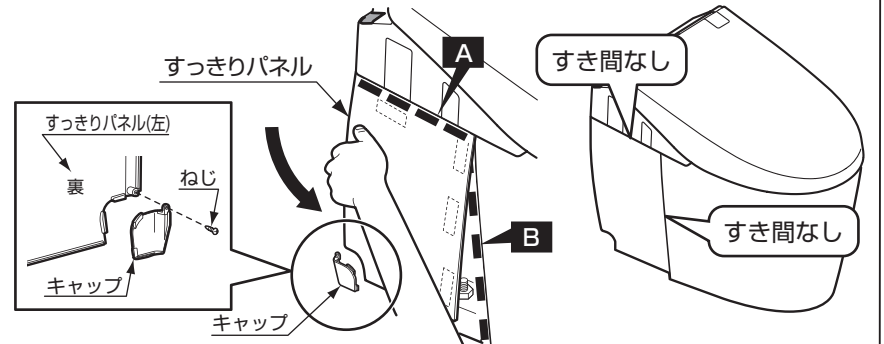
機能部を持つと破損するおそれがあります。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

- ① すっきりパネル(左)からねじを外して、キャップを取り外す。
 - ② すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間がないように取り付ける。
- ※面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。



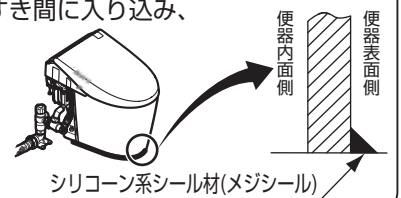
※すっきりパネルが取り付けられない場合は、給水ホースの接続方法を確認してください。接続方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

取り付け後の確認

- ・ 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・ 陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・ 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。

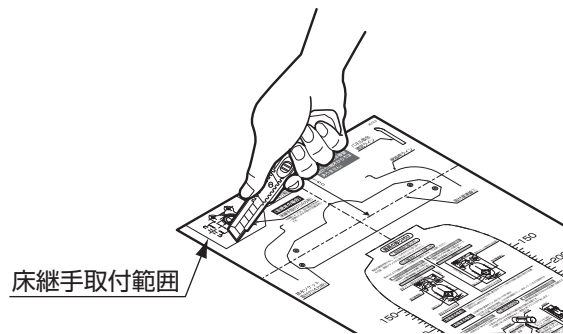


※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

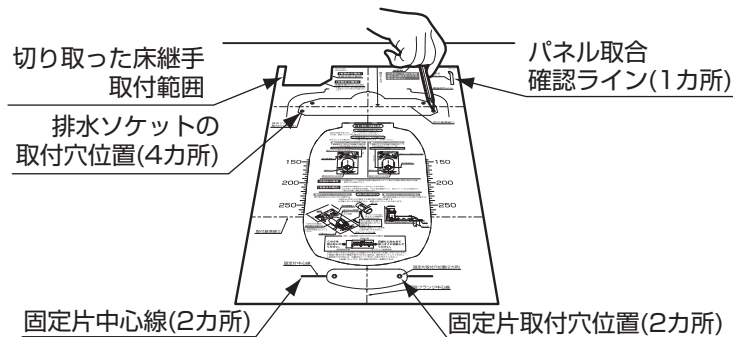
＜右給水の場合＞給水ホース接続手順

① 位置決めシートで固定穴位置をけがく

- ①位置決めシートの床継手取付範囲をミシン目に沿って切り取る。



- ②切り取った床継手取付範囲、パネル取合確認ライン、排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



② 給水金具の取り付け ＜※イラストは床給水(寒冷地)の場合＞

⚠ 注意

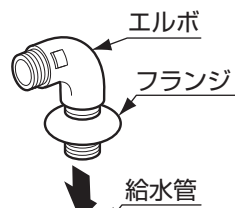


必ず実行

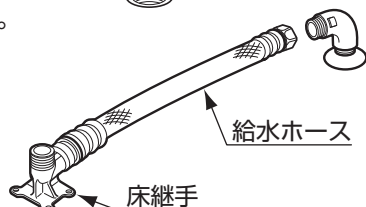
右給水の場合は、位置決めシートで、適切な位置に床継手の下穴をあける

床継手の位置が適切でない場合、給水ホースがパネルと干渉したり、床継手や給水管と接続できないおそれがあります。

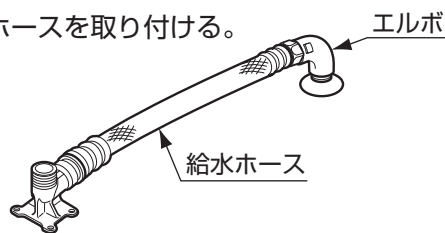
- ①既設の止水栓を外し、既設の給水管にストレート管またはエルボを取り付ける。
床給水の場合：ストレート管
壁給水や寒冷地の場合：エルボ



- ②床継手と給水ホースを接続し、仮置きする。
1) 床継手と給水ホースを取り付ける。



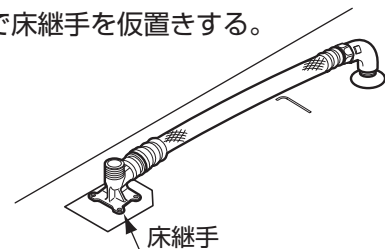
- 2) エルボまたはストレート管に給水ホースを取り付ける。



- 3) 位置決めシートでけがいた範囲内で床継手を仮置きする。

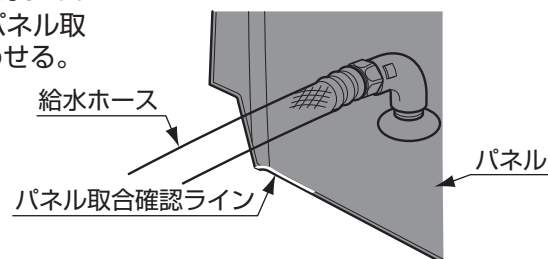
注 意

このとき、床継手の下穴はまだあけないでください。

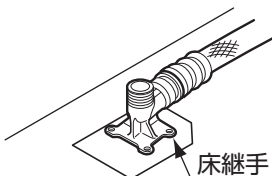


- ③給水ホースとパネルの位置を確認する。

- 1) 位置決めシートでけがいたパネル取合確認ラインにパネルをあわせる。

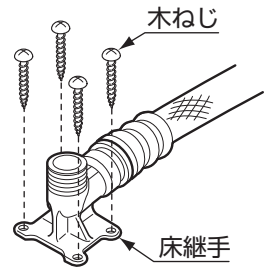


- 2) ホースとパネルが干渉しない位置に、位置決めシートでけがいた床継手取付範囲内で床継手を適切な位置に仮置きする。



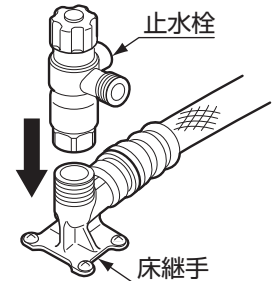
② 給水金具の取り付け(つづき)

- ④床継手を固定する。
・仮置き後、給水ホースとパネルが干渉しないことを再度確認し、床継手を木ねじで固定をする。

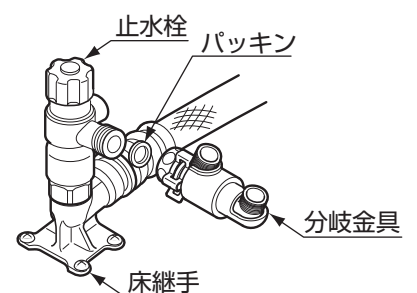


※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

- ⑤床継手に止水栓をねじ込む。
※ねじ部にはシールトテープを巻いて、取り付けてください。



- ⑥止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。



③ 給水ホースの接続

※左給水用と共通ですので、取付方法P.4の⑦を参照してください。

給水ホースの接続手順以外の施工手順については、P3～P5をご確認ください。